

あさお ふれんず

Asao friends

8
2024

マノアウクレレサークル

3
面



ちゃんと弾けているかな？

初心者も上級者も一緒に弾いて歌う。一人で弾く時より上手になった気がする。長つづきする秘訣である。



市民 サークル紹介

8
月号

詳しい情報は
中面・裏面で！

麻生区で活動する市民サークルを紹介しています。気になるサークルには、ぜひお問い合わせを！



星組パドルテニス

2
面



さあ、はじめましょう。お手やわらかに

専用のパドルで、硬式テニス用と同等の公認ボールを打ち合う。空気が少し抜いてあるので、タッチが柔らかく腕に優しいが動きは素早い。

希望の シニアプロジェクト

4
面



集い・学び、一緒に楽しみましょう

人生100年時代に対応した、新しいご隠居スタイルを提唱。麻生市民館で9月から11月まで10回連続の「集い」型講座を開催する。

アートロジ麻生

3
面



“外で展示” ゆえ、きちんと額装して

アート × 露地（路地）。作品、作者を独自の視点で選び、編集し、道行く人たちとともにあるアートスペース。

健康麻雀教室ぴーす

2
面



どのパイを捨てようかな？

教室の初日を取材した。パイは開けてたまま、どれを残してどれを捨てるか、相談しながらの勉強だ。ときおり先生が回ってきて指導する。

気候変動にもなう気温の上昇により、熱中症による救急搬送患者は増加傾向にある。川崎市では熱中症予防促進のため、外出時に体調に異変を感じる前に一時的に立ち寄り、涼める場所を「一時的に暑さをしのぐ場所」（「ちよこ涼」という。）として7月1日より市施設195施設で供用を開始している。

麻生市民交流館やまゆりも、この「ちよこ涼」に参加しているので、熱中症予防のために気軽に利用して欲しい。

冷房の効いた1階サロン（カーペット敷）で休憩、水分補給も行える。手狭にはなるが30人までなら受け入れ可能なので受付スタッフに相談をして欲しい。みんなが涼みながら楽しいひと時を過ごしてもらいたい。

利用は平日の9時半～17時で9月末日までの予定となっている。

お気軽に
どうぞ



9
月末まで

楽しく、優しく。ポン・ポン・ポーン♪

星組パドルテニス

「元気に長くつづけること」をモットーに、気さくな仲間が汗をかいている。ラジオ体操からストレッチ、基礎打ちの乱打のあと、試合形式の練習にたっぷり2時間。途中給水のため休憩をはさむが、おしゃべりに花が咲く。

30年前に麻生スポーツセンターで講習会があり、修了のうちに、受講者が団体を立ちあげた。途中、代表の関口さんは指導員の資格をとって会の維持、発展に努めている。

パドルテニスは、約15×6メートルのバトミントンコートに、高さ約80センチメートルのネットを張ってテニスの要領でボールを打ち合う。ラケットはカーボン製の専用パドル。公認ボールは硬式テニス用と同等だが空気が少し抜いてある。サーブはアンダーサーブだけで、テニスと同様ワンバウンドまでに打ち返せば有効。テニスの心得があると上達が早い、



ラリーは長いと1分程度続くことも。専用のパドルとボール(写真左下)

2回の無料体験で一応のプレイができるようになるとのこと。とにかく気さくで楽しい仲間だ。一度訪ねて欲しい。

取材・文 区民記者 中島久幸



ひと汗かいてリフレッシュ

ほしくみ 星組パドルテニス

代表：関口 勝征 (せきぐち・かつまさ)
 連絡先：044-976-1207 (関口)
 設立：1994年
 会員数：18名 (男性4名、女性14名)
 会費：6000円/半年
 活動日：主に毎週火曜日 12:10~15:10 (都合で金曜日)
 場所：麻生スポーツセンター

初心者向けの麻雀教室を開講

健康麻雀教室ぴーす

「これからは健康寿命を延ばすために何かはしめるべき」と考えた中島さんは「市民交流館やまゆり」の「地域コミュニティ活動支援事業」に「健康麻雀教室」で応募した。

はじめて麻雀を習いたい人を対象とした教室なので、手作りテキストを用いながらの講義と実践練習を行う。第一期は8月7、21、28日を残し、すでに進んでいる。第二期は10月に開始予定で、HPで募集中であるが、現在予想以上に応募者が多数のため抽選になる。習得には個人差があるが帰宅後に忘れないために復習(自主練)も必要で、そういう熱意とやる気のある人の応募を期待しているそうだ。「麻雀は覚えてしまえば一生の宝!ぜひ頑張ってもらいたい」とのこと。

今回教室を

立ち上げる際、もっとも大変だったのが開催場所探し。麻雀牌を混ぜる音がネックだったが、中島さんは、快く場所を貸して

代表手作りの教範。右のパイがくればあがれます



くれた黒川町内会に心から感謝している。近隣には麻雀が楽しめる団体がないので大いに応援したい。

取材・文 区民記者 中島久幸



皆さん初心者。中島先生(右下)の説明に集中して、熱心に聞き入る

けんこうまーじゃんぎょうしつ 健康麻雀教室ぴーす



代表：中島 洋江 (なかじま・ひろえ)
 連絡先：<https://jongpisu2024.wixsite.com/pi-su>
 設立：2024年1月
 会員：5名 (運搬係男性1名、女性4名)
 参加費：2500円 (全8回、テキスト代など)
 活動日：2024年7月、8月 13時~16時 (全8回)
 場所：汁守神社裏の黒川公会堂
 URL：<https://jongpisu2024.wixsite.com/pi-su>

「アート×露地(路地)」「拠点」を、広めていきたい

アートロジ麻生

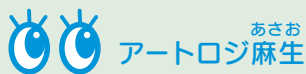


片平川沿いの遊歩道脇の擁壁に6基のパネルが設置され、アート作品が展示されている

アートと露地(路地)で「アートロジ」。ここに地元の人のアート作品が展示されている。これははじめた、現在農業を営んでいる中山周治さん

さんは、「高校教師をしていたころ、総合的な学習の時間に生徒が地域の住民宅を訪問するような地域交流を盛んに行いました。そこでは、生徒が『昔のことを聞かせてください』と聞くより、『昔好きだった(模様)ってなんでしょうか』のほうが話はずみ、話が深まるんです。人と人との交流を活性化させるアートの力を感じました。場面は変われど、再びアート活動をやってみたいくなりました」と話す。

「外で・無料で・いつでも」を原則とする「アートロジ」。その「片平」には6基のパネルが設置され、アート作品が展示されている。7月1日段階で、その展示企画は通算53を数える。しかし、「ここは、レンタルスペースではありません。作品、作者を独自の視点



あさお
アートロジ麻生

代表：中山 周治 (なかやま・しゅうじ)
連絡先：070-6972-5993
suzicosuziohouse@ybb.ne.jp
設立：2022年4月
会員：随時募集中
会費：なし
展示場所：「アートロジ片平」
麻生区片平8-5-4
(片平川 富士見橋近く)
展示サイクル：1テーマ作品2週間



中山周治さん

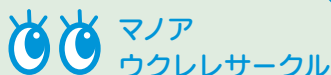
取材・文 区民記者 神澤秀夫

目指すは「うまいー」より「いいなー」

マノアウクレレサークル



伝統的なハワイアンソングに加えて、様々なジャンルの曲を弾いたり歌ったりして楽しんでいます



マノア
ウクレレサークル

代表：西村 勝行 (にしむら・かつゆき)
連絡先：044-966-6986
manoa.ukulele@gmail.com
設立：2022年6月
会員：22名
活動日：日曜日・月2回
場所：百合丘こども文化センター

ウクレレが人気である。持ち運べる軽さ、大きさ。思ったより大きな音が出せるが、ひとり静かに練習できる。弦楽器はまず調弦(チューニング)が必要だ。難しかった調弦も、今では小型な調律機(チューナー)が安価で手に入り、簡単にできる。普通、演奏の基盤は音階練習だが、ウクレレは音階練習を飛び越して「和音」からスタートする。指が器用な人ならすぐにいくつかの「和音」(通常コードと呼ばれる)をかき鳴らせる。コードに合わせて歌を歌えばもう音楽だ。

フラダンスが流行っているのだなじみ深いウクレレだが近ごろは、奏法が著しく進化し多くの音楽のジャンルを演奏できる楽器となっている。弦が4本だけの入門の敷居が低い楽器であるが、恐ろしく奥が深い楽器でもある。

そんなウクレレを始めてみたいひとにウクレレ教室の紹介です。ウクレレの初心者をはじめとする愛好家を対象に月2回、ワンコイン(500円/回)で参加できる。講師は

音楽大学でミュージカルを教えた声楽家。なじみのあるポップスを歌いながら指導する。簡単な弾き語りもそこはミュージカルの先生、伴奏のパターンを変えたり曲の構成にアイデアを盛り込む。お手製の教材もたっぴり用意されてウクレレを通じて音楽の楽しさをしっかり教えてくれる。一度参加すると次回のレッスンが楽しみになること請け合いです。

川崎市内各所にある「こども文化センター」。百合丘こども文化センターは一般利用ができる独立したスペースがあり、さまざまな団体が利用している。ウクレレ教室、当初は子ども文化センターの子どもたちを対象にスタートしたが、それを見た大人たちからの希望で今のかたちに発展した。

取材・文 区民記者 景山茂

人生100年時代に対応した連続講座を開催

昨年5月に厚生労働省が公表した「令和2年市区町村別生命表」によると、麻生区は男女ともに平均寿命が全国でもっとも長いという。都市部にありながら自然豊かで緑が多く、住民の健康意識が高いことがその理由に挙げられている。しかしながら、長生きだけを自慢してよいのか？大切なのはどのように生きるかということではないか、と考えた植木昌昭さん(78)が、「希望のシニアプロジェクト」を立ち上げた。ポジティブに活動する高齢者たちに出会いたいと、仲間を声をかけ、この春から活動を始めた。



面白いこと大好きなプロジェクトメンバー。植木さんが差し出した「この指止まれ」に反応し参加している



講座の詳細は「やまゆり」や市民館で配架されているチラシや展示ポスターを参照。申込は8月1日から(先着順)

「人生100年時代に対応した連続講座」は、単に事例を学び、知識を得るだけの「教室」タイプでなく、それぞれの経験や知恵を出し合い、互いに学びあう。一講座ごとに試行錯誤しながら、みんなが輪になって語り合える「集い」タイプの講座を目指す。袖すりあうも他生の縁。共通の話題を基盤に新しいコミュニケーションが生まれる一助にしたいと考えている。

受講後のフォローもできる

机上の学問。実際の当事者であるわれわれ自身でなにかできないか？」を考えたという。

今回の講座は、聴講者同士で研鑽を積み、意見を交換し、新たなきっかけが生まれる過程も楽しむ。単に事例を学び、知識を得るだけの「教室」タイプ

よう、麻生区に縁があり、地域で活動している講師を起用。終了後は有志で企画を練り、事業を立ち上げ、当事者として「知りたいこと」「やりたいこと」を掘り下げ、実践していくことを希望している。

人生100年時代を見据えた新しい「ご隠居スタイル」とは、老いて枯れることなく自ら動き出すこと。行政に提案を行い、行政で把握しにくい情報発信も目指す。長寿のまち麻生だからこそできる公開講座は、9月18日から11月27日までの毎週水曜、14時～16時、麻生市民館で開催(10月30日は休み)。

問合せ・申込は麻生市民館 951-1300。

取材・文 区民記者 佐々木直子

きぼう希望のシニアプロジェクト

代表：植木 昌昭(うえき・まさあき)
 連絡先：090-6924-4732(植木)
 設立：2024年4月
 会員：5名(男性4名・女性1名)
 入会金：なし
 会費：なし
 活動日：不定期※月に1~4回
 (但9/18~11/27間の毎週水曜14~16時必須)
 場所：麻生市民館ほか

ふれんずの輪を広げよう

区民記者が、あなたの活動取材します!



あさお区民記者

「区民による 区民のための情報発信」を目的に活動。原則、第2木曜日に『Web会議システム(ZOOM)』で編集会議を行っています。興味のあるかたや、参加を希望されるかたの傍聴を歓迎します。左の取材申し込みと同じメールアドレスへご連絡ください。過去の記事や取材後記はホームページをご覧ください。



※選挙、政党・政治団体など政治活動に関わるもの、宗教団体による布教推進を目的とするもの、営利目的の団体・個人、プライバシーの侵害や業務妨害のおそれのあるもの、差別を助長するものは掲載できません。

活動を紹介して欲しい

取材申し込み方法

応募条件

麻生区を拠点に活動している。または、麻生区在住・在学・在勤など麻生区に関わる方が活動に参加している。

申込方法

- ①団体名
- ②代表者名
- ③連絡先(電話・FAX・メール)
- ④活動内容(イベントの場合は開催日時・料金・内容)をFAXまたはメールでご連絡ください。

イベントを取材して!

FAX 044-951-6467

MAIL info@asao-ku.net

お申込みいただいた内容については、編集会議で可否を検討したうえ、改めてご連絡させていただきます。